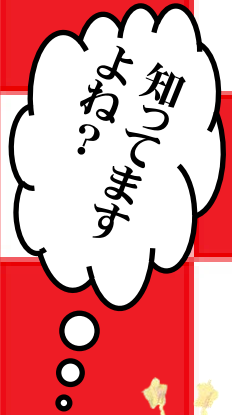


今や節分の定番である「巻き寿司の丸かぶり」実は此花区伝法(当時の申村【さるむら】)が発祥とされています!

このはな発祥!



非公認 西原此花区長の付き人「ぶり☆でび」

昔の節分の日、申村(今の伝法)では、「世念講(よねんこ)」といわれる講があり、そこでは村の若者や船頭衆や川人夫が集まって、夜通し雑談や将棋・囲碁・花札、墓場への肝試しなどを楽しんでいました。このとき「巻き寿司」を食べることが当時の習慣でしたが、人数が多いので、巻き寿司を切り分けていては間に合わず「腹がすいた。切らずにそのままおくれ」の聲が高まり、丸かぶりするようになったのが発祥とされています。



巻き寿司の丸かぶり



【恵方巻きって?】節分はその年の恵方向かって目を閉じて、一言もしゃべらず願い事を思い浮かべながら「巻き寿司」を丸かぶりするのが習わしとされてるんですよ!

